

世界食料需給動向総合調査・分析関係費（新規）

【平成20年度概算決定額 117（0）百万円】

事業のポイント

国際食料事情の変化に即応可能な情報収集・分析・提供体制の整備とノウハウの蓄積により農林水産省独自の情報の把握・分析の多角化・高度化を図ります。

（現状）

国際的な食料需給は、途上国の経済発展、バイオ燃料作物の需要拡大等の多様な要因が顕在化し、これらが複合的に影響して、急激に引きしまり傾向に転じており、さらに、地球温暖化等の気候変動や人口増大による中長期的な変動やWTO・EPA等の貿易要因による変動など、今後の需給ひっ迫の可能性も増大しています。

政策目標

- バイオ燃料の生産拡大による新たな農産物需要の増大、穀物等価格の高騰など、国際的な食料事情の変化を的確に捉え、我が国食料安定供給への影響について農林水産省独自の要因分析を実施し、新たな食料戦略の確立に反映
- 国際的な食料をめぐる諸問題について、正確な情報を国民に適時提供し、民間による海外食料調達の円滑化を図るとともに、国民全体で認識を共有することにより、自給率向上にも貢献

<内容>

1 新たな情報収集システムの構築による情報把握

多種多様な情報収集ツールの確保と国際食料事情の変化に即応可能な情報収集、品目別国別の効率的な情報収集ノウハウの蓄積を行うことにより、省内での情報共有を図り独自の情報を適時施策へ反映します。

- ① 商社、食品製造業等とのネットワークを構築し、定期的な意見交換会の開催
- ② 海外現地コンサルタントを活用した現地のリアルタイムの動きの把握
- ③ 現地の動きに即時に対応した職員による現地調査の実施
- ④ 穀物等の国際価格の高騰による原料調達コストの増加や環境的要請への対応等の食品産業における新たな競争力変動要因等を把握する調査の実施

2 情報分析の多角化・高度化

他産業の市場分析等ノウハウを活用した分析と分析ノウハウの蓄積、食料需給の専門家などによる分析結果の検証を行うことにより、多様な観点からの分析や変動要因相互の関連など総合的な影響分析を実施します。

- ① 職員では困難な他産業や環境要因等の専門分野（エネルギー市場、地球温暖化、中国経済、GM作物等）に関連した分析
- ② 分析結果の信頼性確保等のために外部の専門家等による検証委員会を開催

3 効果的な情報提供（分析レポートの作成）

国際的な食料需給全般のわかりやすい資料、影響要因（トピックス）ごとの詳細な資料、利用者（政策担当者、消費者、民間事業者等）に即した資料を作成し、効果的に情報を提供することにより、施策への的確な反映、国民全体での認識共有、民間調達の円滑化等に貢献します。

- ① 世界全体の食料需給の分析結果（要因相互の関連、中長期見通し等）を総合した年間レポートの作成
- ② 状況に応じトピックス的な個別の要因に即した分析レポートを迅速に作成
- ③ 世界的な食料需給の変動が加工食品の生産・流通へ与えている影響等を中心に食品産業の動向を分析した月次・年間レポートの作成

<p>【担当】 総合食料局食料企画課 本間 （03）3502－7942（直）</p>
--

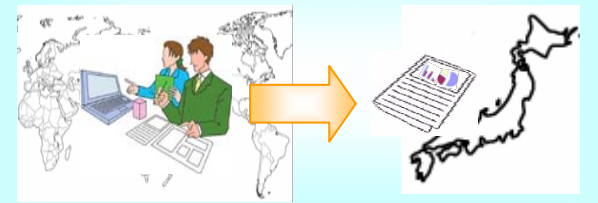
世界食料需給動向総合調査・分析

新たな情報収集システムの構築による情報把握

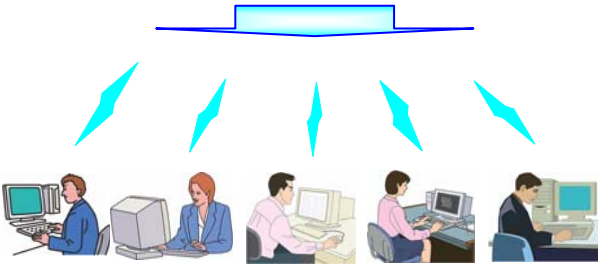
商社、食品製造業等とのネットワーク



海外現地コンサルタントの活用



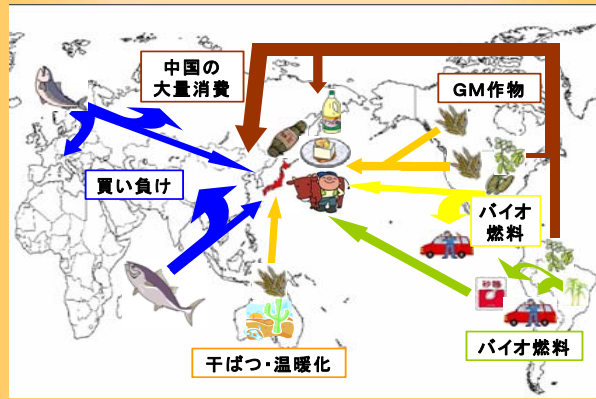
職員による現地調査の実施(ノウハウ蓄積)



省内での情報共有を図り独自の情報を適時施策へ反映することが可能

情報分析の多角化・高度化

他産業の市場分析等ノウハウを活用し分析(職員では困難な専門分野に限定)



分析結果の検証委員会の開催(食料需給の専門家などによる検証)



(多様な観点)

気象変動	人口増加	消費指向	GM作物	バイオ燃料	地球温暖化	その他
------	------	------	------	-------	-------	-----

要因相互の関連
総合的影響分析

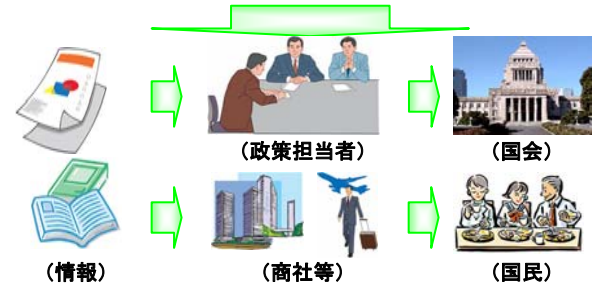
多様な観点からの分析や変動要因相互の関連など総合的な影響分析が可能

効果的な分析結果の提供(分析レポートの作成)

国際食料需給の年間レポート(総合性・明解性)



個別の要因に即した分析レポート(迅速性)



施策への的確な反映、国民全体での認識共有、民間調達の円滑化等が可能